

## 武蔵野東学園の拡大期に在園して

岩崎 敦子  
保護者OG

1979年、私たち家族がエジプトから帰国した時、東学園は西久保と隣前の幼稚園、東小学校に加えて4月から自閉症児の為の第三幼稚園を開園したところでした。募集枠が広がったお蔭で、三女の麻里は6月から入園することができました。

翌年4月には長女も次女も東小の5年と2年に転入しました。中学が無いからと小6の生徒には強力な受験指導をして下さり、長女も希望の私立中学に進学出来ました。

東中学開校はその3年後で、次女が5年生在学の時でした。先生の傍でお手伝いをしていた私には、嵐の日の署名活動等忘れられない思い出です。次女は今でも中学生活が一番充実して楽しかったと言います。

更にキヨ先生は自閉児も高校までは卒業させてあげたいと上級校の創設に心血を注がれました。待っている子どもがたくさんいるから早くと条件の緩やかな専修高校の形での門出でしたが、お蔭で三女も高校卒業と同等の資格を得られて就職が叶いました。

怒涛の勢いで、キヨ先生は世界中から集まった国際学級の子ども達の為にボストンに学校を創ろうと奔走されました。自らボストンと東京の間を年に数回も往復されて開校に漕ぎつかれましたが、子ども達の為の学び舎を広げられる度に、先生は自らの命を削っていました。

最後となった保護者会で「みなさん、私を信頼して大切な方を東学園に預けてくれて有難う」とおっしゃいました。

それから22年経った今、手芸の会社で良好な人間関係を築き、材料の製作に力を発揮し、真面目で正確な仕事振りを評価されて勤続15年になる麻里の姿を見て頂きたかったと、親として全幅の信頼で我が子をお任せできる教育内容と体制を整えて下さったキヨ先生に、改めて心からの感謝と尊敬の念を深くするばかりです。

# つなぎ つながる OB保護者からの伝言

### ●編集後記

今年度最終号の連合後援会だよりはいかがでしたでしょうか?前号に引き続きOB・OGの保護者(今回はお母さま)の投稿を掲載させていただきました。お子様が卒業されても東学園で経験体験されたことは素敵な想いや学びとして、今の生活にも通じているんですね。今年も連合後援会だよりをお読みいただき有難うございました。来年も楽しみにしてください(O)

## 卒業してもまだまだ親の出番なのだ

内田ひとみ  
2002年3月中学卒業  
2007年3月・2009年3月高等専修学校卒業

自閉症の三男が東幼稚園の年少からお世話になり、当時公立小学校に行っていた長男、次男も東小学校に編入させて頂いた。長男はその自由気ままな性格を押さえ込まれる事なく伸び伸び成長し(苦笑)次男は部活を通して根性を植え付けてもらった(今は見る影も…これまた苦笑)。三男は平成21年に卒業をしたが、次はボストンに行くとしばらく言っていた(毎年頂くカレンダーの最後にある各園舎の写真を見て、この順番なら次はボストンだろう!と!笑!!)今は3人とも東学園を巣立ちどうにか、それぞれの路を歩んでいる。

私自身も学園を巣立つはずだったのだが…何故かまだ東学園に入り浸っている(苦笑)。それは、むらさきOB会の幹事を、15年間お世話になった恩返しと思い勤めさせて頂いているから。まだ隠居はできないようだ。

目下の悩みはOB会の役員を引き受けてくださる方がなかなか見つからない事。むらさきOB会はむらさき会のOBと学園を繋ぐもの。むらさき会の卒業生が毎年楽しみにしている『クリスマス会』をメインイベントとして活動している。

どうか、これから卒業される保護者の方、ご協力をお願いします。もれなく卒業生の笑顔が付いてきますよ!



武蔵野東学園  
連合後援会だより

発行: 武蔵野東学園連合後援会だより編集委員会 新43号 平成22年3月9日発行

# 武蔵野東学園 連合後援会だより



### こんにちは!

こんにちは!連合後援会だよりです!!今年度も素敵な一年が終了しようとしています。子ども達はとっても成長していますよね。幼稚園と小中の発表会を鑑賞しましたが、一生懸命の姿に目頭が熱くなりました!!それでは今年度最終号をどうぞ(^\_^)(O)

## 今年の桜が咲く頃には

今年の桜が咲く頃には、わが子が小学校を卒業します。思い起こせば、入学説明会で石橋先生が「我が学校は人間としての偏差値を重視する」と言っていました。この言葉に心打たれ入学しました。6年間素晴らしい先生方に出会い、混合教育によって、心も体も大きく成長したことを実感しています。私自身も6年間後援会活動に参加させて頂く事で、色々な事を経験し、多くの保護者の方々と懇親を深める事が出来ました。親子共々小学校での思い出を胸に抱いて、巣立っていきます。6年間お世話になり、有難う御座いました。

小学校後援会副会長 渡部 志野

## 幼稚園後援会活動を通して

「みんなともだち、ずっとずっとともだち…♪」可愛らしい歌声に包まれた園舎で、今は残された一日一日を大切にしながら卒園準備を進めています。

日々の先生方の細やかなお心遣い、保護者の方々の惜しみないお力添え、子ども達の溢れるエネルギーと笑顔は、後援会にとっての大きな原動力であり、私たちに多くの幸せな時間と経験を与えて下さいました。

そしてこの後援会は、人が支え合い繋がっていく事の大切さ、有り難さ、分かち合える事の喜びを実感しながら子ども達と共に私たちも一緒に育った、温かい大家族でした。

本当にありがとうございました。

幼稚園後援会副会長 峯岸有紀 千保久美子

## 卒業にあたって…

まもなく東中、そして武蔵野東学園の卒業を迎えます。幼小中とお世話になった11年間は、親子共に充実したものとなりました。娘は東中で過ごした三年間で先生方の熱心なご指導の下、学習、部活、行事に取り組み心身共に成長させていただきました。私自身も後援会活動を通じ、多くのことを学びよい経験となりました。武蔵野東学園を卒業しますが、東っ子精神を忘れずに常に感謝の心を持ち、夢に向かって羽ばたいてほしいと願っています。これまで、温かく時には厳しくご指導くださいました先生方、学園の方々また保護者の皆様に感謝申し上げます。

中学校後援会副会長 上野 清子

## 学園での13年間

息子は学園での13年間を過ごし、卒業となります。高等専修学校は社会に貢献出来る人になる為の土台を作り、将来の進路を決める大切な所でした。様々な情勢を見極めながらご指導下さった先生方に感謝します。混合教育の恩恵を受け自閉症でありながら伸び伸びと生活できたのは、先生方や生徒達の個々の個性を大事にする環境があったからこそと思っています。

また、後援会活動をきっかけに皆様から多くの事を学ばせていただきました。学校の事や子育ての話をしながら保護者同士楽しく行ったこの活動もあと少しかと思うと名残惜しいです。至らない点は多々あったかと思います。親子共々お世話になりました先生方や皆様本当にありがとうございました。

高等専修学校後援会副会長 永井 登美子

未来は君たちのためにある



雨で冷え込んだ2009年12月5日(土)は、むらさきOB会クリスマス会でした。早くから職場に休暇を届け出て参加する卒業生もいます。高等専修学校の地下講堂(午後5時~7時)で、幼小中高の先生方と会食をし、長谷川先生、野口先生のパフォーマンスの後プレゼント抽選会に移りました。全先生に卒業生と一緒に頑張り、ステージで籠箱からカードを引き、プレゼントと引き替えていきました。社会人などで、バッグ、電波時計などの実用品を、先生方には事務用品を用意しました。先生43名、卒業生116名、保護者41名で、学園歌を歌い散会しました。

むらさきOB会  
副代表幹事 野本千賀子